



General meeting

平成29年度

総会

平成29年5月20日



来賓の稲村尼崎市長

平成29年5月20日土曜日、尼崎市総合文化センターで、稲村和美市長を来賓に迎え、尼崎市国際交流協会の平成29年度総会を開催しました。

総会では、会長による開会あいさつの後、平成28年度の事業報告、決算報告、会計監査報告のあと、会則の一部改正、役員の一部変更、平成29年度の事業計画案、予算案、すべて原案通りに承認されました。

来賓あいさつで市長から、「『ひと咲き まち咲き あまがさき』を合言葉にまちづくりを進めています。そのシンボル事業の一つ『みんなの尼崎大学事業』では『国際交流学部をつくりたい』という声をいただいております。国際交流協会の皆様にも、ぜひ連携をお願いしたいと思っています」とのご発言を頂きました。

また、議事の中では、現在会員数(普通会員199人、学生会員1人、賛助会員19企業団体から26口)が減少傾向にあるが、今後増加を図って行こう、などの意見がありました。

総会終了後、同じ総合文化センター8階「橘の間」に会場を移し、20人の参加者で懇親会を開催。懇談のひと時を過ごしました。

平成29年度事業計画

- 前期語学講座(開講中、英会話4クラス、58人が受講) 5月～10月
- マレーシアへの「第3回海外語学研修」に市内高校生8人派遣(市教育委員会との共催事業) 7月22日～8月19日(秋に報告会を予定)
- 国際交流サロン「ゆかたを着てタイコの演奏で盆踊り」 7月30日
- 日帰りツアー 9月10日(詳細は裏面)
- 国際交流イベント園田学園女子大学「けやき祭」に模擬店出店 10月21日～22日
- 後期語学講座 11月～3月
- 日本語スピーチコンテスト(園田学園女子大学) 2月17日
- 国際交流サロン 2月(時期未定)

すべて原案どおりに承認

事務局から

会報をリニューアルしました

このたび、会報を大幅にリニューアルすることにしました。これまで年2回4ページの情報紙を発行してきましたが、今号から、2ページ年6回の発行とし、情報量を増やすとともに、よりタイムリーな情報をお届けすることにしました。広報委員は「これまで、例えば総会のお知らせが半年以上経ってから皆さんのもとに届くというようなことがありました。編集作業は少し大変になりますが、新鮮な記事を提供できるようがんばります」と意気込んでいます。

これまで ▶ 2017年7月5日

日本語講座「七夕まつり」

浴衣、法被で笹に短冊

日本語講座で毎年開催している「七夕まつり」を、今年は7月5日に開催。日本語学習者17人、日本語ボランティア講師22人、来賓6人の計45人が参加しました。

会場は、普段の日本語講座と同じ、サンシビック尼崎3階会議室ですが、壁には学習者の出身国の国旗や、たくさんの星が飾り付けられ、学習者の女性は浴衣、男性は法被を着て、賑やかで華やいだ雰囲気。願い事を書いた短冊を一人ひとり読み上げて笹に吊るした後、参加者全員でいろいろな催しを楽しみました。

日本語学習者による朗読劇



これから ▶ 2017年9月10日

日帰りツアー参加者募集



神戸 SKY BUS で 大迫力体験と 異人館めぐり

One-day tour

SKY BUS KOBE

Wonderful Scenic Experiences
and "Kobe Kitano Ijinkan" Tour

westernstyle residents
for foreign settlers
during the Meiji era

「市内在住外国人との交流事業」として年数回の「国際交流サロン」と、年に1回の日帰りツアーを実施しています。市内(または近隣市町)在住・在勤等の外国人と、尼崎市国際交流協会の会員とが、共通の体験を通じて交流と相互理解を深めることが目的です。今年の日帰りツアーは、屋根のない2階建のオープンバス「神戸 SKY BUS」で味わう大迫力体験と異人館めぐりです。

9月10日(日)午前10時30分、JR三宮東口改札前に集合。参加費会員1,800円、一般2,000円、外国人1,000円、小学生以下700円。定員30人。申し込みは8月18日(金)までに、電話かFAX、メールで協会事務局へ。詳細はお申し込み時に。

Speech in the Japanese lecture

毎週水曜午前に開講している協会日本語講座では、学習者に日本語でスピーチをしてもらっています。今回は4月12日の加藤ヒルダさんによるスピーチの一部を紹介します。ローマ字で書いた下書きをご主人に見て直してもらい、自宅で何度も練習したそうです。



日本語講座 のスピーチ

加藤ヒルダさん
フィリピン

私の名前は、ヒルダです。フィリピンから日本に来て約8年です。私は日本語がヘタです。5歳の子供が幼稚園から帰ってくると、「幼稚園で何習ったの？ お勉強しようか」と聞くと、「ママは料理をすればいいよ」「お勉強は、パパが帰ってきたら一緒にするから。だってママの日本語、うまくない」といいます。

主人の会社が家から近いので、いつでも一緒にいるような気がします。昼の食事と一緒にするので、主人の日本語が変になってます。最近もフィリピン人の姪と電話で話したとき、主人の言葉が、英語とタガログ語がミックスして面白いと言ってました。

幼稚園が夏休みの時は、いつもフィリピンに帰ります。フィリピンでは日本語を忘れます。

主人と二人だけの時は、ラブラブだけど、ケンカしたときは言葉はわからないから、主人は「どうしたの、why?

why?」。主人は私の説明が分からないから、時々腹が立つし、彼が話すことを私が意味を勘違いして、すぐ怒ります。病院に行くとき日本語で書けないから、いつも主人と行きます。また、日本人に駅を聞くと「I don't know! I don't know!」と言って、私の質問を聞いてくれない人が多いです。

アイフォンのフェイスブックやラインでフィリピンの家族とも朝から晩まで近くにいるように話せるので、ますます日本語を覚えることが難しいです!

時々、私の一番下の子供には、「日本でしょ!? 日本語で話して」と言われます。その時は、もっと勉強、と思います。子供のためにも、もっと日本語を話せるように勉強したい。最近、やっと豆腐の木綿と絹が読めるようになりました。なぜなら柴田先生とスーパーと一緒に買い物に行ったからです。